

『高等学校 現代文 改訂版』

発行者番号	教科書の記号・番号
15 三省堂	現文 032

A5判、378ページ

< 1. 編集方針 >

- 国語総合の学習成果をもとに、近代以降のさまざまな文章に触れ、日本の言語文化に対する認識を深め、現代の複雑な言語環境に即して主体的に生き抜くことのできる、自立した言語主体の確立をめざしています。
- さまざまな社会意識や多様な価値観に触れ、豊かな人間性を育むとともに、その人間性を基盤とした認識や思考、判断、表現、等々の力を統合的に伸ばすことのできる教科書をめざしています。

< 2. 構成、教材の配置 >

- 二、三年の通年履修を想定した二部構成となっています。
- ジャンルの特徴が明確になるように教材を位置づけるとともに、一つ一つの教材に独立性を持たせ、教材文の持つ主題や文体の独自性を学習者自身が確かめやすいようにしています。
- 「1部」「2部」とともに、七単元の構成とし、随想・評論・小説は、それぞれ二作品で（一部、三作品）一単元を構成しています。
また、「1部」には論理的な思考や情報活用の基礎的な力を身につける教材を二教材配置し、「2部」には、文章から理解したことをまとめ自分の考えを表現する教材「批評のまなざし」を四教材配置しています。AO入試や小論文にも対応しています。

< 3. 教材選定の観点 >

- 現代社会に生きる学習者が直面する諸問題に主体的にかかわることのできる、問題意識の明確な評論教材の充実（15作品＋「批評のまなざし」4作品を採録）を図りました。
- 思考や判断、表現の力を統合的に高めるため、学習者が、事象を言語で論理的に捉えた文章に主体的に向かうことができるよう、話題のバリエーションとバランスが発達段階に即したものとなるよう、組合せ・配列を意識して選定しています。
- 文学作品については、感性を磨き、人間存在をより深く捉えられるような、多様な作品を採録しています。

< 4. 言語事項、教材化、学習上の配慮 など >

- 教材化にあたっては、総合的な国語の運用能力を図れるよう工夫しています。
- 教材末に「学習の手引き」を設け、内容理解の手がかりとなる課題と、その理解を高め、発展させるための学習活動を示しました。
- 「語句と漢字」では、語彙をひろげるための問題、常用漢字習得のための問題を掲げました。
- 読解や鑑賞の補助的資料としての写真や図版を、鮮明さ、見やすさを重視して選定し、掲載しています。